

# 四国中央市の木 五葉松



旧土居町の木に制定されており、東赤石山に太古より自生する松の原種。盆栽の女王と呼ばれる赤石五葉松は世界的に評価が高く、県の天然記念物にも指定され、400年以上の歴史を誇る市の特産物となっています。



# 四国中央市の花 ミツマタ



和紙の原料となるジンチョウゲ科のミツマタ属の木。三つ又に分かれた枝の先に黄色い花を咲かせます。新宮町や翠波高原の「みつまたの里」など、本市にはミツマタ畑が広がり、紙おどりにも唄われるほど、地域に根ざした花となっています。



## 四国中央市の 花と木が決まりました

### 今後の取り組み

「ミツマタ」は、市の公共施設などに植樹し、「五葉松」は、イベントなどで展示をすることで、市民の皆さまに親しまれるようにし、四国中央市の花・木としての知名度向上に努めます。

### 市の花「ミツマタ」 市の木「五葉松」

四国中央市発足20周年に合わせて市のシンボルとなる市の「花」と「木」を制定するため、市発足20周年記念事業実行委員会で協議を重ねてきました。

そして、昨年より市民の皆さまから寄せられたタウンコメントを踏まえ、令和6年2月22日、市の花を「ミツマタ」、市の木を「五葉松」に決定しました。

紙の原料となる「ミツマタ」は、日本一の紙のまちの象徴となり、伝統と海外への発信力を誇る「五葉松」とともに、本市の名声を一層高めてくれるものとして、期待されます。



赤石五葉松輸出振興組合  
(土居町上野)  
森高準一 会長

### 欧州で脚光の五葉松 訪日観光にも期待

土居町の赤石山系に自生する赤石五葉松は、県指定天然記念物であり、盆栽としても芸術性と価値が非常に高いものです。今、フランスでは五葉松の盆栽が脚光を浴びていることから、市のシンボルに選ばれたことはインバウンド観光にも期待が寄せられます。四国中央市も五葉松も歴史と文化を継承し、末永くともに歩んでいきましょう。



赤石五葉松盆栽組合  
(土居町上野)  
日野 勉 組合長

### 魅力を伝え、 未来に続く象徴へ

シンボルとは、未来に続く不変的な象徴です。私たちが市のシンボルが五葉松になったことを励みに、盆栽技術の継承と後継育成に努めなければなりません。そのためには盆栽の魅力を伝えていくことが大切です。四国中央市も同じで、まちの魅力を伝えることが、まちの発展につながるのではないのでしょうか。これからの発展のために、一緒に頑張っていきましょう。

### INTERVIEW



多羅富來和紙 (新宮町馬立)  
大西満王 代表

### 紙の原材料は 紙のまちの原点です

ミツマタは紙の原材料であり、紙のまちの原点です。ミツマタが市の花になったことは、嬉しく思います。日本一の紙のまちとして、製造・加工・販売だけでなく、ミツマタを栽培する生産者にも注目が集まることは、紙のまちを大切にすることにつながると思います。日本一の紙のまちの発展のために、伝統の手漉き和紙の良さを伝え続けたいです。



四国中央  
法皇ライオンズクラブ  
(三島朝日)  
受川真二 会長

### 日本一の紙のまちを 象徴する花です

平成22年、当時の伊予三島法皇ライオンズクラブが結成30周年を記念し、翠波高原にミツマタの苗木6000本を植えました。猪が荒らすなど、うまく育たない苦労もありましたが、今では、かわいい花を毎年咲かせてくれます。今後、翠波高原のみつまたの里が日本一の紙のまちを象徴する名所になれば、私たちも、ボランティアで植樹に参加した当時の高校生にとっても、うれしい事ですね。